

Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース

2022.5.30



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館



コレクション展 色、いろいろ A Spectrum of Color in Art - Works from the Collection

2022年6月7日 [火] - 9月4日 [日]

開館時間： 10:00-17:30 (入場は17:00まで)

休館日： 月曜日 (7月18日、8月15日は開館)

主催： 豊田市美術館

観覧料： 一般300円 [250円] / 高校・大学生200円 [150円] / 中学生以下無料

[]内は20名以上の団体料金。

障がい者手帳をお持ちの方 (介添者1人)、豊田市内在住又は在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料 (要証明)

※その他、観覧料の減免対象者及び割引等についてはウェブサイトをご確認いただくか、豊田市美術館へお問い合わせください。

※感染症拡大防止のため会期、関連事業の内容、来館者の受入態勢等を変更する場合があります。ウェブサイトから最新情報をご確認ください。

同時開催の「機能と装飾のポリフォニー」展観覧券でご覧いただけます。

開催趣旨

芸術表現に色彩はつきもので、その関係は切っても切れないものでした。物には固有の色があり、空は青、雲は白というように約束事もありました。そんな色についての固定観念を覆したのは印象派に代表される近代の画家たちで、固有色にとらわれず、目に映る色、自身が感じ取った色を表現しました。さらに次の世代であるモーリス・ドニは、絵画を「本質的に、ある秩序で集められた色彩によって蔽われた平面である」と定義しました。絵画を成り立たせているのは色彩であると断言しつつ、色自体を抽象的なものとみなし、その秩序と配置は芸術家次第で決まるという考えは、現代美術につながるものです。

現代では、色彩は身の回りの事物を再現するためのものというよりは、芸術家の思考や感情を表現するという役割に重きが置かれています。作家たちは、さまざまな観点から色を選び、用いて作品を制作し、私たちに提示しています。本展では、色彩という切り口で豊田市美術館のコレクションを見わたし、色のさまざまな使い方に注目して作品を紹介します。

出品予定点数

約35点

主な展示作家

中西夏之(なかにしなつゆき)、山口啓介(やまぐちけいすけ)、若林奮(わかばやししいさむ)、オラファー・エリアソン、グスタフ・クリムト、ジュゼッペ・ペノーネ

展覧会のみどころ

・色彩を切り口に、「モノクローム(単彩)」、「ポリクローム(多彩)」、「素材の色」、「B/W(白黒)」、「色で／を表現する」の5つのキーワードに沿って豊田市美術館のコレクションを紹介します。

・時代、地域、ジャンルの異なる作品が色彩という切り口で並列されることによって、それぞれの作品が持つ形や色が強調され、新鮮な魅力を提示し、新たな見え方に気づかされます。

お知らせ

本展覧会は、国際芸術祭「あいち2022」(7月30日～10月10日)連携企画事業です。

国際芸術祭「あいち2022」現代美術展チケット(1DAYパス、フリーパスいずれも可)を持参の方は、本展を観覧できる企画展「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」観覧料が100円引きとなります。

本展を観覧できる企画展「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」のチケットを、国際芸術祭の各会場にあるチケット売場等でご提示の場合に限り、国際芸術祭「あいち2022」現代美術展の会期中販売券が100円引きとなります。

お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

ウェブサイト:<https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail:bijutsukan@city.toyota.aichi.jp

- ・展覧会に関すること 学芸担当:北谷(きたたに) Tel 0565-34-3131
- ・掲載依頼・取材等に関すること 庶務担当:吉兼(よしかね)、籠谷(こもりや) Tel 0565-34-6748

「コレクション展 色、いろいろ」 広報用画像について



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

画像等の資料をご希望の方は以下を記入のうえ、Faxもしくはe-mailでお送りください。

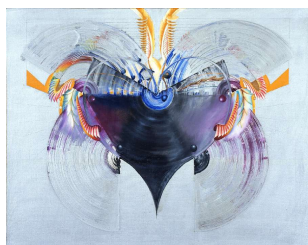
送り先：豊田市美術館 庶務担当 吉兼(よしかね)、籠谷(こもりや)

Tel 0565-34-6748 Fax 0565-36-5103

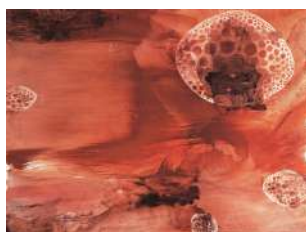
e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前	様	ご所属
Tel		Fax
e-mail		必要な画像等の番号
掲載紙／メディア名		発売日、放送予定日 月 日 (月号・vol.)
必要な観覧券枚数(最大5組10名分)	枚	観覧券の送付先 〒

*読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください



1



2



3



4



5



6

- 1 中西夏之《山頂の石蹴り No.0》1969年、油彩、カンヴァス、73.5×91.0cm
- 2 山口啓介《原子力発電所 6》1995年、アスファルト、樹脂、顔料、紙、280.0×369.0cm
- 3 若林奮《大風景 (4th Stage)》1964, 91年、アルミニウム、鉄、木、4.0×134.5×55.0cm
- 4 オラファー・エリアソン《グリーンランド ランプ》2006年、ステンレススチール、アルミニウム、電球、ケーブル、2.0×52.0×52.0cm
- 5 グスタフ・クリムト《オイゲニア・プリマフェージの肖像》1913/14年、油彩、カンヴァス、140.0×85.0cm
- 6 ジュゼッペ・ペノーネ《黒鉛の皮膚—方鉛鉱の影》2007年、黒鉛、カンヴァスに貼った紙、400.0×600.0cm

※すべて「豊田市美術館蔵」

資料の使用には以下の点に注意してください。

- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮いただき、クレジットを表示してください。
- ・紹介していただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。

美術館使用欄 画像提供の依頼日 年 月 日 画像送付 校正 修正 配信・配本